

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 4 年 12 月 26 日

事業所名 児童発達支援 スマイリーハーツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	特に収納などは工夫している	限られたスペースの為、収納や配置など更に工夫していく
	②	職員の配置数は適切である	100%	0%	利用児童や曜日で配慮して配置している	児童の特性も考慮し十分な職員配置にしてい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	70%	30%		今後も引き続き、特に視覚化も重視し特性への配慮を図っていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	消毒・換気等常に気を配り清潔空間にしている	引き続き感染対策や事故防止のための空間作りを図っていく
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日のミーティングでの振り返りと改善を行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0%	100%		まだ評価表が出ていないため
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		まだ評価表が出ていないため
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		実施していない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	70%	30%	外部講師の研修も取り入れている	今後も時間を有効活用し研修の機会を設けていく
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		今後も引き続き保護者のニーズを反映させた個別支援計画を作成していく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	推奨のものを使用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	アセスメントを基に特性や課題を考慮した支援内容を設定している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	職員間で情報シェアの上支援に当たっている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	プログラムミーティングで決定している	偏りやマンネリ化しないように今後は色々なツールも検討していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	一連の流れは固定化している。内容はその都度変えている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%		特性を踏まえた上で個別、集団を組み合わせた支援計画を作成している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日のミーティング時に行っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時のミーティングで共有を行っている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	70%	30%		支援経過記録を毎日確実に記録する
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	毎回保護者の方からご意見が伺えるように来所をお願いしている	今後も引き続き行っていく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		児童発達支援管理責任者が参画している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		引き続き必要な場合は関係機関との連携を図る
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		該当児童なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		該当児童なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		計画相談を行っている児童に関してはサービス担当者会議を通して行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		必要な児童には引き続き関係機関と連携を図っていく
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		引き続き行政で行っている研修等に積極的に参加していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		コロナ禍で実施出来ていないが落ち着いたら実施していきたい
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	70%	30%		コロナ禍で予定していないが落ち着いたら 地域交流イベントにも参加したい
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	100%	0%	LINEツール等も 活用し手間なく 連絡が取れる 手段も導入して いる	引き続きなるべく小さなことでも保護者とシェア 出来るようにしていく
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%	外部講師を招 いての相談支 援は行っている	コロナ禍で実施していなかったが今後は実施し ていきたい
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	100%	0%		不明点が残らないよう説明時にわかりやすく説 明する
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		引き続き説明や確認を行っていく
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	100%	0%		引き続き面談等相談しやすい環境作りを図り対 応していく
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	0%	100%		コロナ禍に置いて開催は難しかったが今後は 実施していきたい
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	100%	0%	LINEツール等も 活用し手間なく 連絡が取れる 手段も導入して いる	引き続き対応していく
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	100%	0%	LINEツール等も 活用し活動写 真の共有などを 行っている	今後も定期的な情報発信をしていく
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		今後も十分に注意していく
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		現状の他、新しいツールの取り扱いも検討しス ムーズな情報伝達を図る
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍のため難しかったが今後検討してい きたい
非 常 時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	100%	0%	年2回は避難 訓練を実施して いる	今後は訓練だけでなくマニュアル等の周知も 図っていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	100%	0%		定期的に行っているがお休み児童までの周知 はなされていなかったため今後はお知らせして いく
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の 子どもの状況を確認している	100%	0%	職員間で情報 共有を徹底して いる	今後は服薬開始時においても情報を共有し前 後の変化も共有していく
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	70%	30%		アレルギーの有無は保護者から情報シェアをし ているが医師からの指示書による対象児童は いない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	100%	0%	なるべく小さな ことでも記録し 事故防止に繋 げている	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に関催、 外部講師の研 修も実施して る	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	70%	30%		今後対象児童には記載していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。